

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(平成29年度分)

施設名 松江歴史館・松江ホーランエンヤ伝承館
 指定管理者 株式会社山陰中央新報社
 担当課 松江歴史館
 指定期間 平成28年4月1日～平成33年3月31日

1. 総合評価

市	B	【優れていると評価した点】 ○総観覧者数は減少したものの、出雲焼展では新聞を見た市民からの提供による特別展示を行うなど、指定管理者による積極的な広報活動により、博物館としての機能の向上に繋がった。 【評価できない、または改善すべき点】 ○指定管理者による自主事業企画展の観覧者数の減少。 ○月報等の頻繁な修正。 ○電話対応の向上。
---	---	---

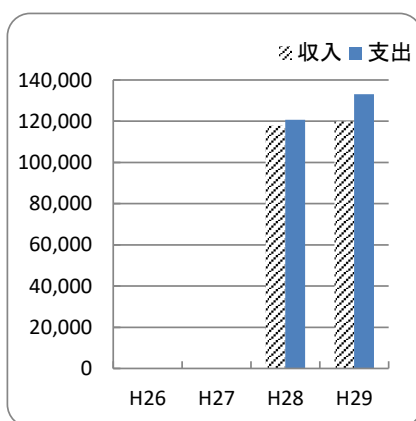
指定管理者	A	【優れていると評価した点】 ○2年連続の入館者数、観覧者数減を生じないよう、集客イベントを積極的に企画。企画展と併せて広報を山陰中央新報紙上を中心に積極展開した。そのため、指定管理業務の収支としては、広報費を予算の3倍以上使った(超過分は指定管理者側で負担)。その結果、両館の知名度や認知度を高めることができ、松江歴史館の入館者191,444人(前年度比3%減)、松江ホーランエンヤ伝承館の入館・観覧者8,435人(同比8%減)、両館の総売上12,430,245円(同比0.16%減)と、ほぼ前年度並みを確保できた。 【評価できない、または改善すべき点】 ○外部からの問い合わせや来館者からの質問に対する迅速、的確な対応がまだ十分できていない。好感をいただいているアテンドの接客・接遇と併せ、さらに向上させていく。
-------	---	---

2. 施設利用の増減について

総括	○松江歴史館の入館者数は191,444人(前年度比97.2%)、観覧者数は60,413人(前年度比89.8%)、松江ホーランエンヤ伝承館の入館者数は8,435人(前年度比91.5%)となり、いずれも昨年度より減少した。 ○観覧料収入がほぼ前年度並みであることから、有料観覧者よりも無料観覧者の減少が著しいと思われる。 ○前年度に引き続き収支が赤字となっており、これは積極的な広報活動を行うために予算以上に広報費を使用したこと、前年度と同じく自主事業企画展の観覧料が無料であることが要因として挙げられる。
----	--

(1) 収支状況の推移

項目\年度		H26	H27	H28	H29
施設の収支	収入			117,805	119,889
	うち指定管理料			79,013	77,757
	うち利用料			0	0
	支出			120,690	133,159
	差引			△ 2,885	△ 13,270
上記以外の市の収入、支出					
市の収支	収入(使用料)			13,122	12,790
	支出			20,771	22,799
	うち市の修繕費			864	12,676



※市の収入(使用料)には、観覧・入館料、貸館使用料のほか、所蔵資料使用料(特別利用料)等を含む

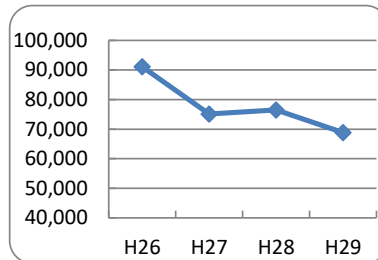
指定管理施設の管理運営状況のまとめ(平成29年度分)

施設名 松江歴史館・松江ホーランエンヤ伝承館
 指定管理者 株式会社山陰中央新報社
 担当課 松江歴史館
 指定期間 平成28年4月1日～平成33年3月31日

(2) 利用者の推移

(人)

H26	H27	H28	H29
91,095	75,155	76,457	68,848



【参考】産出指標(アウトプット)・成果指標(アウトカム)の達成状況

指定管理者が管理する公の施設は、市の施策を実現するために設置されたものですが、その設置目的の多くは抽象的なものとなっています。この設置目的を効果的に実現するためには、市が目標(指標)を具体的に示し、指定管理者と共有した上で施設の管理運営を行うことが大切です。

さらに、目標(指標)がどれだけ達成されたかを客観的に評価するため、指定管理者の活動の結果(アウトプット)や活動からもたらされた成果(アウトカム)を数値化し、市民の皆さんへ公表します。

- A 基準値 : 指定管理者募集の際に、市が提示した指標の値
- B 目標値 : 市が提示した基準値に対し、申請時に指定管理者が提案した値
- C 実績値 : 実績の値

分類	指標	A 基準値	B 目標値	C 実績値	目標に対する 達成度 C/B	基準に対する 達成度 C/A
アウトプット	歴史館入館者数(年間)	200,000	200,000	191,444	95.7%	95.7%
	歴史館観覧者数(年間)	70,000	70,000	60,413	86.3%	86.3%
	伝承館入館者数(年間)	14,000	14,000	8,435	60.3%	60.3%
	歴史館観覧料収入(年間)	19,000,000	19,000,000	12,051,182	63.4%	63.4%
	伝承館入館料収入(年間)	200,000	200,000	203,140	101.6%	101.6%
	モニタリング(満足度:%)	70	70	93	132.9%	132.9%
アウトカム	モニタリングでの肯定的な回答割合(%)	70	70	93		
				達成度 平均	90.0%	90.0%

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(平成29年度分)

施設名 松江歴史館・松江ホーランエンヤ伝承館
 指定管理者 株式会社山陰中央新報社
 担当課 松江歴史館
 指定期間 平成28年4月1日～平成33年3月31日

	指定管理者	市
達成度に対する意見	【達成度に寄与した・有効だった取組みの内容、次期に向けた課題】 ○観光オフシーズンの12月～翌年3月初めにかけて、組織動員も見込める島根県教育書道連盟「開眼」師範会書展(12～1月)を企画展として開催(観覧無料)。有料との違いはあったが、過去の同時期開催された企画展を大幅に上回る観覧者があり集客に効果があった。 ○また、市内の事業所従業員などに松江の歴史について理解を深めてもらおうと、社員研修の一環としての来館を呼び掛けたこともオフシーズンの入館・観覧者確保に貢献できた。 ○さらに、29年度は企画展の関連イベントを催す際も企画展の観覧とセットにした。28年度まではイベントを開催しても参加者が展示を見ることはほとんどなかったが、セットにしたことで観覧者数、観覧料収入の確保につなげることができた。 ○30年度も同様の企画を展開し、入館者数と観覧料収入の増加に結びつける。	【達成度の原因・分析】 ○松江歴史館、松江ホーランエンヤ伝承館ともに昨年度より観覧者数及び入館者数が減少した。 ○なお、観覧料収入については目標値には届かなかったものの、ほぼ昨年度並みとなった。これは、企画展の観覧を組み込んだツアーの開催や、積極的な広報活動により、有料企画展への観覧者数の減少が抑えられたことに対し、指定管理者自主事業の無料企画展への観覧者数の減少が大きかったことが主な原因とみられる。 ○平成30年度には指定管理者制度導入以降初の自主事業有料企画展を開催するため、観覧者及び入館者数の推移に注目したい。

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(平成29年度分)

施設名 松江歴史館・松江ホーランエンヤ伝承館
 指定管理者 株式会社山陰中央新報社
 担当課 松江歴史館
 指定期間 平成28年4月1日～平成33年3月31日

(3) 利用者アンケート

回答数	施設職員の対応・態度等、施設管理やサービスについて	主な意見
428	①満足している 393件(91%) ②どちらともいえない 34件(8%) ③満足していない 1件(1%)	①良い(抜粋) ・館内、トイレが綺麗。子供も大人も楽しめるイベントがあった。接客が良い。ボランティアガイドの説明が良い。 ②苦情(抜粋) ・駐車場が無い。【対応】新たに北堀沿いに駐車場を整備。 ・伝承館が歴史館の敷地内にあると良い。場所がわかりにくい。【対応】案内板を設置。アテンドへお客様への案内を依頼。 ・見るものが無い。【対応】魅力ある展示となるよう会議で情報を共有。 ③要望(抜粋) ・下駄箱が銭湯のようで雰囲気に合わない。案内看板がわかりにくいので、サインを明確にしてほしい。企画展示室に休憩する場所が欲しい。

(4) 住民サービス向上の事例

○ホームページ及び案内看板の多言語表記化を行った。

3. 自主事業

総括	○昨年度に引き続き、喫茶及びミュージアムショップ事業が好評である。 ○季節に合わせたイベントだけでなく、企画展の観覧を行程に組み込んだツアーの実施など、イベント参加者を観覧者へ繋げる企画を積極的に実施している。
実施状況	○喫茶「きはる」、ミュージアムショップ「縁雫」 ○企画展開連ツアー「大美保閑ツアー」「本能寺の変ゆかりの地巡り」 ○自主事業企画展「松江藩御用窯の現代作家たち」「開眼師範会書展」 ○各種イベント「遊んで学ぼう歴史館クイズ」「甲冑着付け体験」「火縄銃の演武と居合切り」等

4. 特記事項

○特になし。

5. 今年度の目標・課題

○引き続き積極的な広報活動に努め、入館者数及び観覧者数の増加を図る。
 ○老朽化した施設の修繕・更新について、市と協議の上計画的に実施する。